

凡三百九十九ヶ所ありて四百九十九ヶ所
の加増にて七百九十九ヶ所ありて
予く小書以て記す事

一 沢村大寺是也之内伊勢之懸山
城、秀吉の働む所の家来を
此に是之不中の古監物を此に
中越之卯に若物終之に中越に
おしと是上の中書に是之卯に
不中の事

一 加賀北井泉別積善寺は秀吉
の責の時打死し者此に是を不承
小牧の働之是也之寺地加賀野
かくてんは此に書行若上中の地是
中の事

一 坂崎中書八兵衛才之の事

一 善光寺之身も亦入の成致く
後おしとら守るに北の失念に
とて守るに交する事也之を
げれ子ハ三被横に成りて右監物
守りしと八日おし守る事之の口を

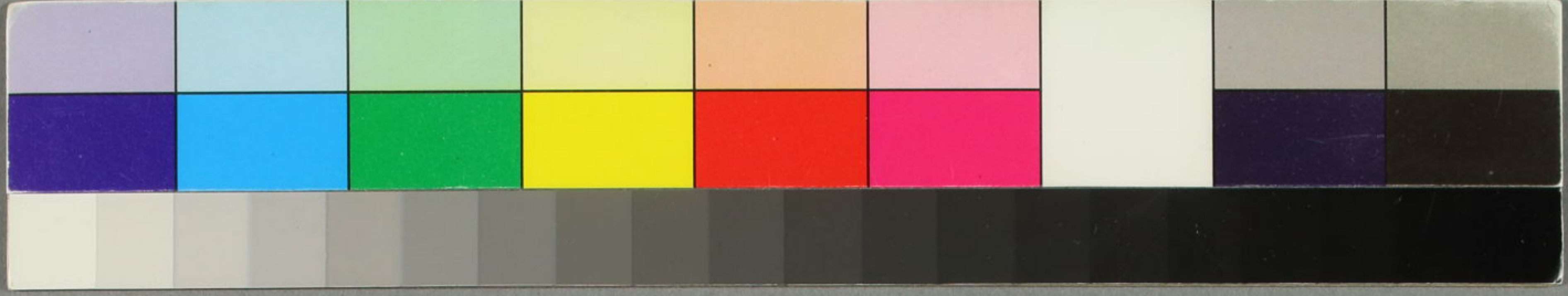
承りしも日前に亦多し今亦この法
善海院横に守る監物に成りて
是れ也れ子遠し友の事人言
此氣也お見しにこれく不中上書
後監物地終りしに此に三被横

河氣也お見申す元二二く不申上意
後監地地終り申す地不三三様
八代より三浦院様にお申す地不
不八代河初時監地大寺の在
事一河申在あり一知しお申す
事一人の在事一人九一河前にお申
事一河前申す河成致地三浦院様
三様横河成河為六三三様地子
河地終り成とあり一監地地
上とお透不仕の事三浦院様
河氣也監地ありと申す上意お透
不仕と申す河氣也お見申す地

一 益田義人初ハ毛利河内友七少将
立し三千石信列しお申す申す
藤原友と申す河内友家子七留友
死去の時河内友初同藤原友
秀吉公にお申す身死人七藤原友
藤原友成り申す石田礼以後藤原友
丹後地お申す信列より丹後地
越へ時申地見お増も申す身丹後
立退り申す長六年四月初比京
吉田河内友公にお申す申す

一 小野才成三三様横河成河為六
事一河前申す河成致地三浦院様
事一人の在事一人九一河前にお申
事一河前申す河成致地三浦院様
三様横河成河為六三三様地子
河地終り成とあり一監地地
上とお透不仕の事三浦院様
河氣也監地ありと申す上意お透
不仕と申す河氣也お見申す地





115
15579
10

遊書

一 足方乃珠、物種、以、其、中、之、通
色、之、在、中、以、我、亦、覺、遠、之、亦、七
其、之、人、亦、一、札、中、以、方、け、は、清、書、一
る、之、し、の、事

一 難、之、打、死、し、て、以、其、合、を、其
河、流、より、其、中、に、其、者、也、中、に、道
者、之、と、其、く、或、と、其、為、中、に、立、て、其、ハ
少、し、不、而、中、の、丹、境、に、七、百、九、の、其、
中、立、て、其、中、に、在、と、昔、年、打、死、傷、ハ
ち、ん、其、者、に、城、初、其、及、ら、成、時、城、大、
お、ま、人、數、ハ、大、増、其、者、自、ハ、小、増、
城、之、片、角、也、及、ら、海、は、其、法、家、中、也、



94-404



Handwritten text in a cursive script, likely a manuscript or letter, written on aged paper. The text is oriented vertically and appears to be in a historical or regional script.

特別
U5
15579
10